



今、 我が愛する街・亀山市は、「変革の時」を迎えようとしています。合併から4年、人口は5万人を超え、クリスタルバレー構想の進展や新名神高速道路の開通など躍進を続けてきました。しかしながら、未来への不安やまちの急激な変化のなか、真の暮らしの豊かさを実感し持続できることが望まれています。まさに今、亀山市の転換期です。

市 民の皆さんの信頼が高まり、誰もが愛着と誇りをもって暮らせる亀山市を創るためには、自立した独自の政策としくみへ転換しなければなりません。さらに今、亀山市に必要なのは、時代とまちの変化に適応し進化できる、市民に開かれた「希望と信頼」の市政ではないでしょうか。

新 ・亀山市には、まだまだ可能性と魅力のひきだしがあります。恵まれた地域資源に磨きをかけ、子や孫の世代へ継承するために。私は、ここに『新生・亀山モデル ～7つのカタチ～』と命名したマニフェスト(政策集)を市民の皆さんにご提示し、「小さくともキラリと耀く街・新生亀山」へのひきだしをご一緒に開きたいと考えます。

マ ニフェストとは、言いつばなし・やりつばなしの願望を述べただけの公約ではありません。4年後その結果をチェックいただけるよう、具体的な政策・財源・期限を明記した、市民の皆さんと交わす「約束」です。ぜひ、ご一読いただき、未来へのご選択をいただくことを強く願っています。

梶井 義之

すべては未来のために。